大船渡まちもり大学

『ウミガメとともにつくるまち』を考える

三陸沖にも夏にたくさん来遊している!!



人口1万人のまちに開館1年目に17万人の来場を達成した水族館が高知県にあります。廃校を活用し地域の海洋生物だけを紹介している、むろと廃校水族館です。ウミガメ研究者でもある館長の若月元樹さんをお招きし、夏場に三陸沖にも来遊しているウミガメとともにつくる海に親しめるまちづくりを考えます。

開催日時 11月12日(木) 18:00~19:30

会場 キャッセン大船渡 コミュニティスペース

対象 一般市民、小学生、中学生、高校生
※親子連れ参加歓迎

参加無料

館長ご紹介

むろと廃校水族館 館長
若月 元樹 さん



1974年広島県生まれ。高校を卒業後、大学進学のため沖縄へ。沖縄でウミガメと出会い、ウミガメの調査に没頭する。サラリーマン、大学院を経て日本ウミガメ協議会へ。2018年からむろと廃校水族館の館長。

実施背景

三陸海岸の沖合は、北西大西洋海域、北東太平洋海域と並んで世界三大漁場のひとつとされていますが、ウミガメが来遊していることはあまり知られていません。実は夏になると若いウミガメがたくさん泳ぎ、定置網に入ることもあるため、漁業者の間では知られた存在です。しかし、一般の方に伝えると多くの方が「え!ウミガメが来ているの!」と驚きます。太平洋を数千キロも大回遊する生態をもったウミガメは、絶滅危惧種でもあります。その存在や生態について知り、三陸の海をはじめとする地球環境の保全意識を高め、ウミガメとともにつくるまちを考える機会とします。

スケジュール

1. 18:00 ▶ 開会・趣旨説明
2. 18:10 ▶ むろと廃校水族館 館長 若月元樹さんのお話
3. 19:00 ▶ 質疑応答［三陸・大船渡ではなにができそうか］
4. 19:20 ▶ 総括・閉会

申込方法

お申し込みはこちらから▼

当日参加も受け付けますが、席の用意の都合上、QRコードからかTELにて申込みをお願います。

大船渡まちもり大学 お問い合わせ キャッセン大船渡 TEL0192-22-7910(平日9:00~18:00)

主催 株式会社キャッセン大船渡／特定非営利活動法人おおふなと市民活動センター／東京大学大気海洋研究所海と希望の学校

後援 大船渡市／大船渡商工会議所／一般社団法人大船渡市観光物産協会／一般社団法人大船渡地域戦略／一般社団法人大船渡青年会議所／吉浜漁業協同組合／越喜来漁業協同組合／綾里漁業協同組合／大船渡市漁業協同組合